

TDA 特別サロン「都市デザイン史ワークショップ その1」のご案内

2004年に景観法が制定されてほぼ10年になります。しかしながら、我が国の市街地の景観デザインは必ずしも十分な役割や効果を発揮しているとはいえず、新たな景観問題も各所で起きています。市民が主役のまちづくり方式が定着しつつある今日、景観デザインに関わる都市計画、建築、ランドスケープ、色彩、照明、サイン等の様々な専門家の役割も大きく変わってきました。TDAは、都市デザインの様々な専門家が集まっていますので、それぞれの立場から都市デザインの変化を議論し、俯瞰することが出来ます。今回、以下のようなワークショップを開催し、1960年代以降の都市景観デザインの歴史の流れを記録し、それについて批評や評価を加えることにより景観デザインの新たな課題と視点を探求したいと思います。ご関心をお持ちの会員、一般の皆さまには奮ってご参加ください。

■日時と会場：平成25年5月22日(水) 18:00~20:30

横川環境デザイン事務所 (3F 会議室)

大田区蒲田5-44-14 佐藤ビ3階

(JR蒲田駅東口より右方向へ徒歩3分)

■テーマ：「都市デザイン史ワークショップ その1」

～都市景観デザインの歴史を俯瞰して、新たな課題と視点を探る～

■進行・ゲスト：参加者全員方式＋曾根 幸一氏、土田 旭氏

コーディネーター：高見公雄(法政大学教授)

■定員：30名

■会費：1000円(軽い飲食を用意します)

■主催：NPO 景観デザイン支援機構(TDA) <http://www.tda-j.or.jp/>

■参加申し込み：TDA サロン事務局 Email event@tda-j.or.jp / Tel: 080-6722-4114

(ワークショップの進め方、事前のお願い)

- ①参加者は、自分のした仕事などそれぞれの分野の都市デザイン上の大きな出来事を複数(いくつでも)用意して頂き、そのデータ(プロジェクト名、年代、内容キーワード等)を事前に高見研究室<takami@hosei.ac.jp>にメールで送付してください。
- ②当日は、プロジェクト画面で、これらのデータを入れた年表を見ながら、皆で議論して適宜、追加データや事象を補充していきます。(プリントやポストイットも用意)
- ③可能であれば、ワークショップの終了時には、皆にデータを渡せるようにします。
- ④今回、情報不足等があれば更にデータを補充し、第2回目のワークショップに臨みます。